

平成31年2月23日

足立区立西伊興小学校
校長 中郡 英一 様

足立区立西伊興小学校
開かれた学校づくり協議会
会長 佐藤 正浩

平成30年度 学校関係者評価

1 自己評価書全般について

平成31年度も102名の新一年生を迎え、順調に学級数増を実現する見込みです。適正規模校としての学校運営を協議会、保護者・地域を挙げて喜んでいきます。教職員並びに学校をサポートするPTAのご尽力に心より感謝申し上げます。

【今年度の重点目標について】

(1) 学力向上

日々のわかりやすく丁寧な授業、校内及び小中連携による授業研究、算数習熟度別学習、週一回の基礎基本の時間、放課後に行うアフタースクール、夏休みのサマースクール等の取組、また、年間を通しての低学年(1,2年生)での算数習熟度別学習により児童の基礎学力の向上が図られている。授業スタイルも統一されており、児童が活発に自分の意見を発表したり、友達の意見に耳を傾けたり、自分の考えをノートにしっかり書いている児童がとても多い。今後も基礎・基本の確実な定着に向けた教職員の組織的な取組を継続することを切に願っています。

(2) 体力向上

持久走、短縄、長縄への全校を挙げての取組は素晴らしいものがあります。今年度は、コーディネーショントレーニングを取り入れ体幹を鍛える運動も加え、児童の体力の向上に努めている。また、オリンピックパラリンピック教育の一環として、ミズノ「ヘキサスロン体験」など実際に体験する活動も多く取り入れ、本校の課題である「ソフトボール投げ」「反復横跳び」「上体起こし」など向上が図れるように、体育授業の更なる充実を図るとともに休み時間におけるボール投げ遊び、鬼遊び、鉄棒・雲梯遊び等を通じた運動の日常化を図ることが大切であると考えます。また、家庭や地域においても体を動かすことの大切さについて学校から啓蒙していく必要があると思います。

(3) 家庭・地域との協力

生活習慣の確立に向けての生活づくりがんばり表は3回の平均達成率が9割という結果となったと伺っています。学校と家庭との連携が十分にとれていた成果であると考えます。児童・教職員の挨拶が今年度以上に大きく響き続けることを願っています。地域の皆様から指導を受けてのもちつき体験活動を通して、地域への愛着をはぐくむ心が育ったと思われます。協議会として今後も学校への協力を精一杯行っていきたいと考えています。

2 学校から出された課題や保護者・地域への期待について

- 学級によって児童の学習姿勢や校舎内での過ごし方に差が見られます。学校としての授業規律、生活指導について今一度、教職員で意思統一を図り、児童への指導に当たってほしいと思います。
- 漢字や計算などの基礎的な学力を定着させるためにも、教職員の質の向上に努めてほしいと思います。
- 善悪の判断や規範意識を高める指導を行うと共に、児童が悩みや不安を気軽に相談できる体制をさらに進めてほしいと思います。
- 体験的な学習をたくさん取り入れ、児童が意欲的に取り組めるような工夫を今後とも続けてほしいと思います。
- 学校HPや学校だより等での、学校での児童の様子行事などの情報発信を今後とも続けてほしいとおもいます。

3 その他

- いじめ防止に向けて相談ポストの設置、アンケートの実施、いじめ防止のポスターで呼び掛ける等学校としての取組がよく見えました。今後もいじめのない学校づくりを進めてほしいと思います。
- おはなし会、読み語り等の読書活動の充実が図られてうれしく思いました。今後も図書館ボランティアとの連携を深めて一層の充実が図られることを期待します。
- 今年度も西伊興小学校児童の礼儀正しさ、真面目に一生懸命に頑張る姿がたくさん見ることが出来て大変嬉しく思っています。学校規模が大きくなって西伊興小学校の伝統、宝として今後も継承していくことを願っています。